



地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担う子ども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.26  
2013.5.15発行

# ニュースレター

開院20周年を記念して、病院だよりをリニューアルします。

長野県立こども病院だより第26号 発行日：2013年5月15日 発行者：原田 順和  
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432  
http://www.pref-nagano-hosp.jp/kodomo/ kodomo@pref-nagano-hosp.jp



日本医療機能評価機構  
当院は日本医療評価  
機構の認定病院です



## 長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担う子ども達のために、  
質が高く、安全な医療を行います。



## Contents

新年度のご挨拶	1
泌尿器科の常勤化について	2
小児在宅療育推進シンポジウム	2
病棟紹介(第3病棟)	3
優良業績表彰の紹介	3
新人職員の紹介	4
編集後記	5
外来医師担当表	6

## 新年度のご挨拶

長野県立こども病院 病院長 原田順和



平成25年度第一号となるこども病院だよりを発行するにあたり、病院長よりご挨拶申し上げます。

今年は、例年になく寒い冬が到来し、こども病院でも敷地内の除雪にたびたび苦勞をしました。一転して3月になると暖かい

日が多くなり、さくらの開花も例年より早く、フレッシュな新入職の方々と一緒に、院内に明るい空気を送り込んでくれました。

さて、本年度は、いよいよ長野県立こども病院が創立20周年を迎える年となります。20周年記念式典実行委員会を中心に、式典の計画を進めているところです。

本年度は、新生児の代謝疾患に対するスクリーニング法であるタンデムマス法検査の開始、DPC準備病院として2年目の作業、念願の泌尿器科の常勤化、鼠径ヘルニアを対象とした日帰り手術の導入などを予定しています。また、本年度後半からは、在宅移行病床である第2病棟で10床を増床し、日帰り検査や手術に備える予定にしています。一方、複雑な処方内容のため、60%台にとどまっ

ている院外処方率を上げるために、薬剤師会と連携しながら院外薬局の設置を進めています。また、薬剤科を中心に薬剤師業務の一層の効率化を進めるとともに、看護師業務の軽減や医療安全の向上を目指し、病棟薬剤師の配置を行っていきます。昨年度から採用した医療相談員やチャイルドライフスペシャリストの活動により、“患者さんとその家族に優しい病院”を目指したいと思っています。

平成5年5月28日に開院し、本年度で成人式を迎えることになる長野県立こども病院は、今後ますます加速していく少子化の波を乗り越えながら、次の10年に向けてまた新たな歩みをかさねていくこととなります。将来どのような小児周産期医療を目指す病院にするかという議論を重ねて、こども病院のあらたなあるべき姿を検討することが必要になってくると考えています。

従来にも増して、“子ども達のために質が高く安全な医療を行います”という理念を実現すべく、職員一同努力してまいり所存であります。高度専門医療に軸足を置き、長野県における小児周産期医療の最後の砦としての役割を果たすことが、われわれ病院職員に課せられた責務であります。どうか皆様方からの変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 泌尿器科の常勤化について

泌尿器科部長 市野みどり



泌尿器科は、今まで非常勤医師による週1回の外来診察でしたが、この4月1日より、常勤医師として赴任しました。泌尿器科は腎臓、膀胱、腎臓と膀胱をつなぐ細い管である尿管、尿道などの腎・尿路や外陰部・精巣の病気の診療を担当します。先天性疾患が多いのが特徴で、このような疾患は超音波検査など診断技術の進歩や普及によって胎児期・新生児期といった早期に発見されることが多くなってきています。

泌尿器科が担当する主な疾患は水腎症、膀胱尿管逆流症、尿道下裂、尿失禁・夜尿症、二分脊椎症などによる神

経因性膀胱、停留精巣、精索静脈瘤、精巣捻転症などです。これらの中には、尿路感染症や腎機能障害、不妊の原因となるものや、夜尿症のように重大な病気とは考えられなくても患者さん、家族に精神的負担を与えるものなどさまざまな疾患があります。また、他の疾患など何らかの原因があって、尿失禁、夜尿症がおこっている場合もあります。

治療あるいは成長発達により自然に治ってしまうものもありますが、一方で早期に治療が必要な疾患、成長に伴い病態が変化する疾患もありますので、泌尿器科では、疾患の特性と患者さんの成長発達に合わせて、診断、治療、経過観察を行っています。

## 小児在宅療育推進シンポジウム ～多職種協働で作ろう！よりよい養育環境～

患者支援・地域連携室長（兼副院長）  
藤岡文夫

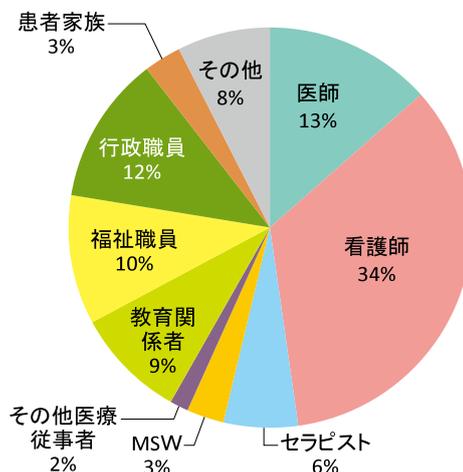
平成25年2月23日、こども病院において小児在宅療育シンポジウムを行いました。これは厚生労働省の平成24年度在宅医療連携拠点事業の一環として開催したものです。本事業は2025年の医療イメージに向けて、特に高齢者の在宅医療を推進するために企画された事業です。そのキーワードは「多職種連携」、「顔の見える関係」、「市町村単位」、「点から面へ」でした。全国で105の事業所が補助金を受けて活動しました。小児在宅医療を掲げて高齢者対象よりも広域に活動したのは、当院を含め3事業所で、24年度は小児在宅医療を推進するための課題抽出が主な仕事でした。

この課題抽出を行うために、2月23日は長期入院児等支援コーディネーター河野医師の活動報告と4名のシンポジストの提言を受けて、KJ法によるグループワークを行いました。参加者70名、職種は医師、看護師以外に教育関係者、患者さんご家族、多くの行政職員の方々に参加いただきました（円グラフ）。挙げられた課題は、小児においても顔の見える関係での多職種連携は難しいということ。また医療・福祉資源の不足や不十分な家族支援、情報共有ツールの確立やコーディネーターの必要性が挙げられました。

小児在宅医療については厚生労働省もその重要性を認め、平成25年度には「小児在宅医療連携拠点事業」が全国展開されることになっています。当院もこれらの課題抽出からその先に進むべく準備をしていますので、25年度も多くの施設、多くの方々のご協力をお願いいたします。



● シンポジウム参加者70名の内訳



## 第3病棟の紹介

第3病棟 看護師長 奥原香織



MFICU（母体・胎児集中治療室）6床と産科一般病床21床から構成されています。産科医6名、看護スタッフ32名（うち助産師20名、看護師12名）から成り、長野県の総合周産期母子医療センターとしての役割を果たしています。

患者の対象は、胎児疾患や切迫早産などのハイリスク妊産婦です。一昨年度からは、ミドルリスク妊産婦（子宮内胎児発育遅延・羊水過多など）の受け入れも開始し、約200件で推移していた分娩数は、昨年度261件まで増加

し、今年度はさらにそれを超える勢いとなっています。

ご両親が、疾患を持つお子様を育てていくにあたり、よりよいスタートを切るには、出産経験が大きく影響すると考えています。第3病棟では「3つの「安」（安全・安楽・安心）で、心に残るお産を、チームで協力し支援します」を基本方針とし、家族が主体的にお産に臨めるように支援をし、夫の立会い出産も行っています。また、出産を丁寧に振り返ることで、お子様に対する気持ちをご両親自身がしっかりと受け止め、今後の育児に気持ちを向けることができるようになりました。

また、入院されている妊婦・褥婦さんには、ゆったりと入院生活を過ごしてもらえるよう、アロマセラピストの資格を持つ看護スタッフを中心に、アロママッサージも行っています。さらに、4月からは特別療養個室を3部屋改装し、アメニティーの充実を図りました。差額代金は2900円から5000円に値上がりしましたが、快適に過ごしてもらうことができます。

「育児のスタートは産科から!!」いろいろな事を産科発信していけるよう、頑張っていきたいと思います!

## 優良業績表彰の紹介

平成24年から、当院職員より発表された優秀論文、出版物を表彰する制度が始まりました。これは、学術研究を通して職員の資質向上を図り、小児専門医療機関としての専門性、学術レベルを一層向上させることを目的としたもので、初年の24年は2名の職員に院長賞が授与されました。

### 小児抗菌薬のトリセツ (金原出版)

小児集中治療科・感染制御室 笠井正志



多くの小児医療の現場はマンパワー不足です。特に夜間はギリギリの人数で、ビギナー小児科医が当直医として、たった一人で全責任を背負って、こわごわ勤務しているのが実情です。さらにこどもは何故か夜間に病状が悪化し、受診する。そんな時、初めて診る病態や疾患にどう

対処するか…。夜間に患者を目の前にして成書を読んでられない。最短の時間で最適解を判断することが重要で、学問的に正しいかどうかよりも最優先になる。夜間に重症感染症をマネジメントしなければならない若手医師を対象に、可能な限りややこしいことは省いて、実地に必要なポイントやコツなど、最低限「漏れのなく」、「余計なことをしないで」、「専門医（上級医）につなぐまでの」ことを短時間で把握できる内容にして上梓させていただきました。

### "Normal Range of Left Ventricular 2-Dimensional Strain -Japanese Ultrasound Speckle Tracking of the Left Ventricle (JUSTICE) Study-" Circulation Journal 2012;76:2623-2632、日本循環器学会 2011 Impact Factor (IF) = 3.76

循環器小児科 瀧間浄宏



～抄録より一部を抜粋～ 2Dスペクトラック法は心筋局所のストレインを定量化できる新たな指標であり、近年この手法を用いた多くの臨床的研究が報告されているが、少数例の健常者における比較検討が中心である。一方で各超音波メーカーによるスペクトラック法の方法が異なるため、機種が異なると測定値が異なる可能性があり、得られた値の変化が真の臨床的变化を表しているのか、異なる機種で得られたデータによる測定間誤差なのか不明である。今後この方法が臨床で広く普及するためには、日本人における正常値、機種別の正常値を多数の健常例で評価する必要がある。今回、我々は、左室2Dストレインの正常値と機種別の違いを明らかにするために、日本心エコー学会主導型の前方視的多施設共同研究を計画、実施した。

# フェロー・後期研修医・NICU看護師研修の紹介



氏名

- Q1. 出身地
- Q2. 趣味は何ですか？
- Q3. こども病院での研修の感想はどうですか？
- Q4. 将来の夢は？



馬場 有希子  
(ババ ユキコ)

- Q1. 埼玉県
- Q2. 海外旅行
- Q3. 医科手術の麻酔をかけるのは初めてなので、毎日が新鮮でドキドキです。
- Q4. 歯科の麻酔は活躍の場が少ないので、長く続けていけるように道を切り開けたらと思います。



居石 崇志 (スエイシ タカユキ)

- Q1. 福岡県生まれ、大学は大分大学、臨床研修は東京です。
- Q2. 自宅にシアターセットを組みました。「人志松本のすべらない話」を見ています。
- Q3. 診療科を超えてドクター・ナース・comedicalの方々が楽しそうに働かれており、雰囲気がとてもよいです。後輩の指導・育成に力を入れてらっしゃるのがよくわかります。
- Q4. 小児集中治療科を専門として、ひとりでも多くの子供たちの助けになればと思っています。よろしくお願いします。



清澤 研吉  
(キヨサワ ケンキチ)

- Q1. 長野県
- Q2. スポーツ観戦、旅行
- Q3. 小児ならではの検査麻酔など新鮮な驚きと発見の毎日ですが、検査麻酔といえどもモニターを十分につけることや、その後の病棟での管理も徹底していることから安全に対する意識の高さを感じました。
- Q4. 世界遺産を制覇したいです。



伊藤 有香子  
(イトウ ユカコ)

- Q1. 栃木県
- Q2. お買いもの
- Q3. 症例の豊富な病院だと思いました。
- Q4. 一人前の新生児科医になりたいです。



仁田 学  
(ニッタ マナブ)

- Q1. 東京都
- Q2. 旅行
- Q3. 職員全体の医療水準向上に対する意識の高さを感じます。
- Q4. 大人から子供まで診察出来る医師になることです。



島袋 篤哉  
(シマブクロ アツヤ)

- Q1. 沖縄県
- Q2. サッカー
- Q3. 南国の沖縄から来たので長野の寒さに慣れるか心配です。
- Q4. 長野県立こども病院の循環器科で勉強して、将来は沖縄で長野での経験を生かしていければと思っています。



田中 孝明  
(タナカ タカアキ)

- Q1. 長野県松本市
- Q2. 音楽鑑賞 (ショスタコービッチなど)
- Q3. 自分の生まれた場所で仕事ができることの喜びを感じながら、研修に励んでいきます。
- Q4. 自分の子供に自慢のできる小児外科医になること、ですかね。



嶋田 和浩  
(シマダ カズヒロ)

- Q1. 札幌市
- Q2. 天体観測、おいしいものを食べる
- Q3. 日々新しいことを学んでいます。
- Q4. 熱心な指導医の先生方の下、楽しく診療させて頂いております。こどもの将来を支えられる小児科医になりたいです。



**松本 昇**  
(マツモト ノボル)

- Q1. 兵庫県(宝塚市)
- Q2. マラソン、サイクリング、ドライブ
- Q3. 皆さん温かい人ばかりで、患者さんの治療にとても熱心ですごく刺激になっています。半年間よろしくお願いします。
- Q4. 重症管理、集中治療管理のできる小児科医



**土山 厚志**  
(ドヤマ アツシ)

- Q1. 北海道室蘭市
- Q2. ランニング
- Q3. 職員の方々は皆さんあったかいですが、松本や安曇野の昼夜の寒暖差が尋常じゃないって感じました。
- Q4. 診察させてもらった子供たちが大きくなったら、一緒に一杯飲みたいです。



NICU看護師研修  
**古澤 礼**  
(フルサワ アヤ)

- Q1. 福井県
- Q2. 旅行
- Q3. 今まで見たことのない症例が多く大変ですが、先輩方が一つ一つ丁寧に指導してくださるのでとても勉強になります。1年間頑張ってます。
- Q4. これからも赤ちゃんの世話をしたいです。



NICU看護師研修  
**木賣 梓**  
(キウリ アズサ)

- Q1. 長野市
- Q2. 野球観戦
- Q3. 先輩方が明るく楽しく働いていることが印象的です。
- Q4. 赤ちゃんのために!! 一生懸命働かれていて、知識も頭に入っています。こども病院ではない所でも自信を持ってbabyのケアができるようにしたいです。

## 編集後記

創立20周年に合わせて長野県立こども病院だよりが、本号からリニューアルしました。その名も「しろくまニュースレター」。皆様ご存じ、こども病院キャラクターのしろくまさんから名前を付けました。重複する内容が多かった患者支援・地域連携室だよりも本紙に併合することになりました。また、長野県立こども病院ブランドとして、表紙のこども病院遠景を影絵化したデザインを取り入れています。今後このデザインが、各発行物に統一使用されます。

安曇野は田植えの季節を迎え、緑が日増しに濃くなっています。4月に入った新人の方々も各々のキャンパスに描くテーマ色が決まる頃でしょうか。心も体も健康に成長していただきたいと思います。

次号は、5月25日に行われる「創立20周年記念式典」の様子、地域連携情報を中心にお届けいたします。お楽しみに。

藤岡

長野県立こども病院

### 公開講座のお知らせ

7月6日(土) 塩尻市 塩尻総合文化センター  
7月20日(土) 長野市 JA長野県ビル

●テーマ「食物アレルギー」

### 「小児の食物アレルギーについて」

独立行政法人国立病院機構 相模原病院小児科 小池由美 先生

### 「アナフィラキシーショック時の対応」

長野県立こども病院 小児集中治療科 黒坂了正 先生

# 長野県立こども病院 外来医師担当表

平成25年5月1日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟外来	整形外科	藤岡 文夫 (AM)	高橋 淳 (PM) <sup>※1</sup>	松原 光宏 藤岡 文夫 加藤 博之 <sup>※2</sup>	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
	小児外科		好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	
	眼科	非常勤 <sup>※3</sup>	視能訓練	視能訓練	視能訓練 (AM) 北原 博 (4/4)	北澤 憲孝
	総合小児科	南 希成 (AM) <sup>※4</sup> 笠井 正志 (PM)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) <sup>※5</sup>	南 希成 (AM) 笠井 正志 (PM) <sup>※4</sup>	樋口 司 (AM)
	血液腫瘍免疫科 <small>免疫・アレルギー外来</small>			重村 倫成 (AM)	小林 法元 (AM)	
	血液腫瘍免疫科 <small>血液・腫瘍外来</small>	塩原 正明	塩原 正明 (AM)	塩原 正明		塩原 正明 (AM)
	血液腫瘍免疫科 <small>内分泌・代謝外来</small>		竹内 浩一 (AM)		竹内 浩一 (AM)	竹内 浩一 (AM)
	循環器科 <small>(内科・外科)</small>	小坂 由道 (AM) 坂本 貴彦 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 (内科)	原田 順和 (AM) 坂本 貴彦 小坂 由道 (外科)	安河内 聰 田澤 星一 (内科)	瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)
	リハビリテーション科					笛木 昇 (AM)
北棟外来	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
	泌尿器科 <small>皮膚・排泄ケア外来</small>	市野みどり	下記 <sup>※6</sup>	市野みどり		
	神経小児科	平林 伸一 <sup>※7</sup> 福山 哲広	平林 伸一 <sup>※7</sup> 福山 哲広 (PM) 奥野 慈雨	平林 伸一 奥野 慈雨 (AM)	奥野 慈雨 (AM)	平林 伸一 福山 哲広
	小児外科					高見澤 滋 <sup>※8</sup>
	新生児科	中村 秀勝 (AM) <sup>※9</sup> 小田 新 (AM) <sup>※9</sup> 中村 友彦 (PM)	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
	形成外科	野口 昌彦 藤田 研也	安永 能周 <sup>※10</sup>	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史雄	野口 昌彦 (PM) 丸山百合子 (PM)	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史雄 (PM)
	血液腫瘍免疫科 <small>内分泌・代謝外来</small>		竹内 浩一 (PM)		竹内 浩一 (PM)	
	麻酔科	大畑 淳 (AM)				
	皮膚科				芦田 敦子 (AM)	
	精神科 <small>こころの診療科</small>				原田 謙 (PM) <sup>※11</sup>	
	遺伝科	古庄 知己 <sup>※12</sup>	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 泉 幸祐 (PM) <sup>※13</sup>	西 恵理子 (AM)
	耳鼻咽喉科		下記 <sup>※14</sup>		出浦美智枝	
	循環器小児科 <small>胎児心臓外来</small>		田澤 星一	松井 彦郎	瀧間 浄宏 松井 彦郎	安河内 聰
	産科	吉田 志朗 (AM) 高木紀美代 小松 篤史 (PM)	高木紀美代 小松 篤史	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 小松 篤史	高木紀美代 小松 篤史
	リハビリテーション科	笛木 昇	関 千夏 (AM) 笛木 昇 (PM)	笛木 昇	原田由紀子 三澤 由佳	笛木 昇 (PM)

- ※1 整形外科の高橋医師は第2週のみ診察となります。
- ※2 整形外科の加藤医師は奇数月第3週のみ診察となります。
- ※3 5/13、5/20、5/27の診察日となります。
- ※4 月曜日の南医師と木曜日の笠井医師は、午後4時～5時の間だけ予防接種相談外来になります。
- ※5 南医師は、ワクチン接種になります。
- ※6 第1週のみ西澤医師の診察となります。
- ※7 月・火曜日の午前 平林医師は発達障害専門外来です。
- ※8 胃瘻・中心静脈栄養外来です。
- ※9 中村(秀)医師は、第1、3、5週、小田医師は第2、4週の診察となります。
- ※10 火曜日の安永医師は第4週の午前のみ診察となります。
- ※11 精神科(こころの診療科) 外来の初診は、受付していません。
- ※12 遺伝科の古庄医師は午前11時からの診察となります。
- ※13 遺伝科の泉医師は第2、4週の診察となります。
- ※14 耳鼻咽喉科 午後 週によって、医師が異なります。

- ★診察時間：午前9時～午後4時
- ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
- ★受診には、原則として予約が必要です。

**予約専用電話**  
**0263-73-5300**